

スポーツがこの世界から消えてしまったらどうなるのだろうか。スポーツは生産活動ではないただの娯楽にすぎないのだから、消えてしまっても構わないと考える人もいるかもしれない。あるいは、仮にスポーツに何らかの役割があったとしても、スポーツがなくなれば人類はその代替物を見つけ出すだろうから、消滅しても大きな問題は生じないと楽観視する人もいるだろう。しかし、私はそのようには考えない。というのも、スポーツには人間の他の営為にはない固有の価値があると考えからである。なお、スポーツの概念は時代によって様々に変化するが、ここではそれを「人間が身体技能を高めることを目的として自らの身体全体を動かす活動」と定義する。そのため本答案においては、ダンスや武道、登山などはスポーツに含まれるが、運動部位が局所的なものに留まるテーブルゲームや楽器の演奏は含まないものとする。

それではスポーツ固有の価値とは何か。真っ先に挙げられるのは健康と体力の維持であろう。我が国を始めとする先進国では国民の多くがデスクワークに従事しており、日々の生産活動の中で運動をする機会が限られている。加えて我々は常日頃、生命の維持に必要な量を大幅に上回るカロリーを摂取しており、そうした食生活が様々な疾病をもたらしている。このような状況の中で我々が健康を維持するためには、継続的・自発的に運動をしていくほかに、運動を自発的に続けるためには多くの場合技能の向上を実感できる必要がある。つまり、スポーツがこの世界からなくなってしまうえば、日本をはじめとする先進国では生活習慣病の患者が増加し、社会全体の医療費が増大すると予測される。

また、スポーツが技能の向上を目的とする以上、スポーツは単に健康や体力を維持するのみならず、運動機能を強化する効果もある。重いものを持ち上げられるようになる、スムーズに歩行できるようになる、身体が柔軟になるといったスポーツの効果は、高齢化という現象に直面する我が国においては特に注目されるものであろう。もしスポーツがこの世界から失われれば、機能障害を抱える高齢者が今よりも増え、やはり医療費の増大が起きると考えられる。

以上のように、スポーツには健康の維持と運動機能の強化という意義があるため、もしスポーツがこの世界からなくなってしまうならば、人々の健康が著しく損なわれるというのが私の結論である。